平成２８年度　南風原高等学校キャリア教育研究構想図

【関係法令】
・日本国憲法
・教育基本法
・学校教育法
・学習指導要領

【本校の教育理念】
・「自主・自律」の精神
・郷土の文化を愛する心
・幅広い「職業観・勤労観」
・実社会で活躍できる良識

【生徒の実態】
・素直で明るく部活動で活躍する生徒が多い。
・基礎学力の定着が必要な生徒もいる。
・学校生活の規律は確立されているが、自主性や人間関係形成能力が弱い生徒も少なくない。

【関係資料】
・文科省キャリア教育資料集
・文科省キャリア教育推進の手引・沖縄県キャリア教育推進プラン

【本校の基本方針】
・自己実現に向け自ら挑戦する人間力
・信頼関係を築き、可能性を引き出す
・社会性と良識の育成
・主体的進路選択能力育成
・授業規律の確立と学習する校風醸成

【家庭・地域社会の実態】
・ＰＴＡ役員を中心に教育活動への協力姿勢があるが、学級ＰＴＡへの参加者は少ない。
・商業と農業地域で、役場や青年会等の地域行事に参加する生徒も多い。

【県教育委員会施策】
・沖縄県教育委員会主要施策
・学校教育における指導の努力点

【本校キャリア教育の目標】
○気づきを促すグループワークや実習体験を通したキャリア能力の育成
○情報収集と体験を通した進路設計
○教科指導を含めた各教育活動での意識的なキャリア教育の推進

【進路指導の課題】
・前年度:91%の進路決定率(内訳：進学76.7%、就職14.2%）をさらに高める。
・進学はAO･推薦入学志向。受験に対応できる学力の向上を図る。
・就職は県外増をめざす。

【１年の目標(可能性を広げる)】
・自己探求と対人関係力をつける
・自己の将来を考える

【２年の目標（可能性を吟味する）】
・役割関係で計画と実行力をつける
・大切にしたい価値を考える

【３年の目標(現実的な選択決定)】
・選択し課題解決に向けて動く
・人生設計をする

［直接的な主なキャリア教育］

【１年】自己を知る
・コミュニケーション演習
・自己の価値観・長所短所等を自覚し、支えられている自分に気づき生き方を考えるワークなど
・上級学校調べや体験見学など

【２年】職業を知る
・インターンシップと事前事後学習
・なりたい自分やりたい仕事を探すワーク
・働くことの意義について学ぶ
・職業人インタビュー

【３年】進路を選択する
・人生プランや問題解決の演習
・上級学校出前講座・マナー講座
・小論文講座
・自己アピールや面接演習
・仕事の常識やストレス対応

［学校教育全体の中の主なキャリア教育］

【学校行事】
・入学式
・宿泊研修（１年）
・三者面談
・校内弁論大会
・学園祭・体育祭･舞台祭
・交通講話・人権講話
・薬物乱用講演会
・性エイズ講演会
・卒業式

【生徒会・ＨＲ活動等】
・ＨＲ役員・係活動
・生徒総会、役員選挙
・新入生歓迎球技大会
・リーダー研修
・平和新聞コンクール
・読書週間活動
・高校総体推戴式
・３年生を送る会

【キャリア教育に関連が深い各教科と部活動の主な育成目標】

《国語》
・表現力
・伝え合う力
・思考力

《地歴》
・歴史理解と認識を深める
・社会の一員としての自覚と資質を養う

《公民》
・主体的に考察し公正判断する力を養う
・人格の形成に努める実践的意欲を高める
・公民としての資質能力と態度を養う

《数学》
・数学的な見方や考え方の良さとそれを活用する態度

《理科》
・科学的探求能力と態度
・科学的な自然観

《保健体育》
・心と体の生涯の健康保持増進の資質や能力

《芸術》
・芸術の愛好と豊かな情操

《英語》
・外国語で積極的にコミュニケーションを図り、異文化を理解しようとする態度

《家庭》
・家族・家庭と社会との関わりを理解
・生活に必要な知識と技術の習得
・男女協力して生活を創造する能力と実践的態度
・生涯の生活設計

《情報》
・情報と情報技術活用知識と技能
・情報化に主体的に対応する能力と態度

《商業》
・商業の知識と技術の修得
・問題解決や社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度

《郷土文化》
・郷土の芸能文化の良さの体験的理解と技能
・郷土の文化を尊重する態度を養う

【部活動】
・自ら目標を設定し計画実行する態度と能力
・集団や組織の中でのマナーやコミュニケーション能力及び課題解決能力

［育成すべき４つの能力領域（基礎的・汎用的能力）］

【A人間関係形成・社会形成能力】	【 B自己理解・自己管理能力 】	【C課題対応能力】	【Dキャリアプランニング能力 】
多様な他者の考えや立場を解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ、他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力。	自分が「できること」、「意義を感じること」、「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力。	仕事をする上でのさまざまな課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力。	「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべきさまざまな立場や役割との関連をふまえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方に関するさまざまな情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力。

家庭・地域社会・企業との連携
（ＰＴＡによる講話・就業体験等）

大学・専門学校との連携
（出前講座や体験見学及び進路ガイダンスなど）